

組織としての公文書番号を付番していない場合は、空欄。

様式 1-1 (記入例)

令和 年 月 日

文化庁長官 殿

代表者氏名は、記名+押印としてください(印は代表者印)。

団体名 ○○市  
 住所 ○○県○○市○○町3-2-1  
 代表者職名 市長  
 代表者氏名 ○○ ○○ 印

平成31年度 Living History (生きた歴史体感プログラム) 促進事業 交付要望書

平成31年度 Living History (生きた歴史体感プログラム) 促進事業について、補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり要望します。

事業の名称	○×市の文化財を活かした歴史体感プログラム事業	
補助事業の着手及び完了の予定期日	着手元 年 ○ 月 1 日 完了 2 年 3 月 31 日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           収支予算書の交付要望額と同額。千円未満の端数は申請できませんので、自己負担額等で負担してください。         </div>
補助金の交付要望額	(補助対象経費 円 円の %)	

(ふりがな)	
担当者氏名	
所属	
連絡先 (TEL)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           実務を担当(書類作成)している方の氏名を記載いただき、平日の日中に連絡のとれる電話番号も記載してください。         </div>
" (FAX)	
" (E-MAIL)	
書類等の郵送先	
その他 (日中連絡先)	

この様式は参考書式がワード形式になっております。そちらを活用いただくか、下記の項目をエクセルで作成いただいても結構です。

様式 1 - 2

1 申請者の財政規模又は収支及び財産の状況に関する書類

(1) 申請者が地方公共団体である場合・・・当該事業を実施する日の属する当該地方公共団体の会計年度の  
前々年度の財政規模を記載した書類

年度（一般会計）

人口	歳出 総額	歳入 総額	歳 入 総 額 内 訳					交付税の 交付・不 交付区分	備考
			税収 入額	国 庫 支出金	普 通 交付税 交付金	特 別 交付税 交付金	その他		
人	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

(記載上の注意)

- ・決算ができない場合は,予算額でよい。
- ・備考欄には、財政力指数を記載すること。

(2) 申請者が協議会等である場合・・・申請書を提出した日の属する年の前年分の収支計算書及び財産の  
状況を明らかにした書類(実績がない場合は当該年度の収入  
見込額)

イ. 収入及び支出

収 入			支 出		
項 目	金 額	備 考	項 目	金 額	備 考
	円			円	
合 計			合 計		

(記載上の注意)

- ・ 有料公開している場合は、観覧長等の収入について、項目別に記載し、備考欄に単価と人員を必ず明記すること。

ロ. 財産状況

資 産			負 債			
区 分 及 び 種 類		種 類	評 価 額	区 分 及 び 種 類		金 額
動 産			円	負	債	円
種 類	現金 預貯金 有価証券 その他			種 類	借 入 金	
	不 動 産		円			
種 類	土地 建物 その他			負 債 合 計		円
	そ の 他		円	差 引 (資 産 - 負 債)		円
資 産 合 計			円	正 味 財 産		円

(記載上の注意)

- ・ この表は、申請書を提出した日の属する年の前年末現在で作成すること。
- ・ 資産の欄には、現金・土地・建物等、一般に資産と考えられるものを記載すること。
- ・ 土地建物で、貸地、貸家、山林等がある場合は、それぞれ区分して記載することが望ましい。

<平成31年度事業計画書>

事業の名称	○×市の文化財を活かした歴史体感プログラム事業		
実施主体の名称	○×市	種別	地方公共団体・協議会・その他( )
財政規模を示す指数	地方公共団体:一昨年の財政力指数 民間団体:事業規模指数 を記入	DMOの参画	有 (団体名:○×市DMO協議会) ・ 無
文化財保存地域活用計画等の有無	有・無	○×市歴史文化基本構想 ○×市歴史文化基本構想 ○×市歴史的風致維持向上計画(平成○年) 史跡◎◎城跡 保存活用計画(平成○年)	

全体計画の概要

計画を策定していない場合は「無」と記載。策定している場合は「有」とともに保存活用計画の名称を記載してください。

○×市には、市域の南部にあたる●●エリアをはじめ貴重な文化財が集積している。市では●●エリアの観光ルートとして、下記に掲げる文化財を周遊するコースを推奨しているところである。  
 このたび、●●エリアに所在する史跡「◎◎城跡」、重要文化財「○○城」、名勝「○○庭園」、この地の江戸時代の状況を記録した重要文化財「○○家文書」を活かして、その魅力を磨き上げるため付加価値を創出する取組を通じ、外国人観光客等を始めとする誘客を進めるとともに、文化財の特別公開などを通じて経済の好循環による経済活動を行う。  
 【実施スケジュール】  
 プログラム① <令和元年度>～10月:実施体制確定、11～2月:調査、企画・フロー構築、プログラム開発・制作、3月:プログラム実施  
 <令和2年度>4月～:プログラム実施(通年実施)  
 プログラム② <令和元年度>～3月:調査・企画 <令和2年度>4月～8月:プログラム開発・広報、9月～3月:プログラム実施(月2回)

同一年度に、連携して実施する観光旅客税事業	・重要文化財「○○城」美装化事業	本年度の事業の準備・実施スケジュールも記載ください。複数年の実施を予定している場合は、そのスケジュールも記載してください。
-----------------------	------------------	---

プログラム①のテーマ		プログラム①で対象とする主要文化財
「○○家文書」の絵図に基づく○○家大名行列の復元		史跡「◎◎城跡」、重要文化財「○○家文書」
概要	「○○家文書」の絵図に基づいた○○家の大名行列を復元し、武家の	
実施するプログラムの数によって、追加してください。プログラムの詳細は(様式1-5)要望書別紙(事業内容等)にご記入ください。		
プログラム②のテーマ		プログラム②で対象とする主要文化財
「○○家文書」に基づく大名の正月儀式再現		史跡「◎◎城跡」重要文化財「○○城」、重要文化財「○○家文書」
概要	重要文化財「○○家文書」の記録に基づき、大名の正月行事を復元する。○×城や◎◎城跡において、復元した上級武士などの正装を着用する体験や、饗応の体験、復元した「正月の御膳」を楽しむ体験に観光客が参加することで、武家の「ハレの儀式」を体感する。	
プログラム③のテーマ		プログラム③で対象とする主要文化財
名勝「○○庭園」における茶会体験		名勝「○○庭園」
概要	○×城の庭園であった○○庭園において、江戸時代の史料に基づいて茶会を再現する。庭園内の茶室や屋外での野点などに観光客が参加することによって、当時の文化を体感する。	

※ 3つを超えてプログラムを作る場合は、行を追加してください。

歴史的状況の調査・検証、事業の実施体制	
調査体制	●●市歴史博物館学芸員が基礎調査を行い、○×市DMO協議会のスタッフが推敲を加えて、史実に基づく親しみやすいストーリーを作成する。
検証体制	史実の検証は、外部有識者○名で構成する、○×市Living History検討会(会長 ○山×助 ●●大学文学部教授)が調査成果の検証、実施にあたっての検討を行う。 【体制】会長 ○山×助(●●大学文学部教授 近世史) 副会長 ▼川◎太郎(○×市史編纂者) 委員 …… 委員 ……
プログラムの実施にあつては、外部有識者による検討会等を経て、磨き上げのポイントとなる事業の有効性を検証してください。※多角的な視点から検証を行うため、複数の有識者による検証・検討を求めます。	
実施体制	事業実施にあつては、外部有識者・関係団体・行政関係者などが「○○市Living History運営委員会」を構成し、連携して実施するための検討と提言を受けて、効果を高める取組を実施する。

具体的な指標及び目標値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
指標・目標値①	Living History事業の各プログラムへの参加者総数【必須】	—	45,000人	50,000人	53,000人	56,000人	58,000人	60,000人	60,000人
指標・目標値②	対象文化財群に来訪した外国人観光客数【必須】	18,000人	25,000人	29,000人	34,000人	38,000人	41,000人	44,000人	46,000人
指標・目標値③	対象文化財における外国人観光客満足度(アンケート調査)	68%	70%	75%	80%	80%	80%	80%	85%

※ 3つを超えて指標及び目標値を作る場合は、行を追加してください。

申請年の前年実績を基準として、事業終了から4年間で想定される目標値を記入ください。

整備事業に伴う令和元年度の自己収入見込み			
プログラム①	1,250,000円	受益の方法	特別鑑賞席 1人 2,500円 利用者見込み 500人
プログラム②	2,400,000円	受益の方法	衣装体験料 1人 10,000円 利用者見込み 30人×8回
プログラム③	500,000円	受益の方法	体験参加料 1人 100円 利用者見込み 500人×10回
合計	4,150,000円	備考	

※ 3つを超えてプログラムを作る場合は、行を追加してください。

様式 1 - 4 (記入例)

<収支予算書>

	区分	金額 (予定を含む。)	内訳	備考
収入の部	本事業以外の補助金・助成金	0		プログラムの実施に伴い発生する収入は、ここには記載しないでください。 様式1-3(整備事業に伴う31年度の自己収入見込み)および様式1-6(⑧特別料金の徴収等について)にのみ記入してください。
	その他収入	0		
	小計(A)	0		交付要望額は千円未満の端数が出ないようにしてください。端数が出る場合は自己負担額にいらしてください。この値は1枚目の、補助金の交付要望額と同じになります。
	自己負担金(B)	11,980,000		
	本事業による補助金の交付要望額(C)	11,930,000		
	①収入合計 (A) + (B) + (C)	23,910,000	0	同額になるようにしてください。

	区分	総事業費	補助対象経費	交付要望額	総事業費のうち自己負担額等
支出の部	総事業費	23,910,000	23,860,000	11,930,000	11,980,000
	主たる経費	23,910,000	23,860,000	11,930,000	11,980,000
	賃金	84,000	84,000	42,000	〇〇市予算 42,000
	共済費	0	0	0	0
	報償費	100,000	50,000	25,000	〇〇市予算 75,000
	旅費	10,500,000	10,500,000	5,250,000	〇〇市予算 5,250,000
	使用料及び賃料	90,000	90,000	45,000	〇〇市予算 45,000
	役務費	0	0	0	0
	委託費	10,500,000	10,500,000	5,250,000	〇〇市予算 5,250,000
	請負費	2,450,000	2,450,000	1,225,000	〇〇市予算 1,225,000
	備品購入費	0	0	0	0
	原材料費	0	0	0	0
	需用費	186,000	186,000	93,000	〇〇市予算 93,000

実施するプログラムの数ごとに経費の内訳を、記入ください。  
3つ以上実施する場合は、行を追加してください。

&lt;支出内訳明細&gt;

事業名称	経費内訳	総事業費	交付要望額	自己負担額等
「〇〇家文書」の絵図に基づく〇〇家大名行列の復元	<b>【報償費】</b> 運営会議有識者 10,000円×委員5名 50,000円(報償費内訳①) その他 50,000円 ※補助対象経費外 <b>【旅費】</b> 大名行列の現地調査 一式 5,500,000円(旅費内訳①-1) 運営会議旅費 500,000円(旅費内訳①-2) <b>【委託費】</b> 大名行列丁度 製作委託 一式 4,500,000円(見積番号①) 大名装束(裱他)製作委託 一式 2,500,000円(見積番号②) <b>【需用費】</b> 消耗品費 50,000円(需用費内訳①)	13,150,000	6,575,000	6,575,000
「〇〇家文書」の絵図に基づく大名の正月儀式再現	<b>【旅費】</b> 大名正月儀式の文献調査等 一式 3,500,000円(旅費内訳②-1) 検討会有識者 500,000円(旅費内訳②-2) <b>【委託費】</b> 大名装束(大紋衣) 制作委託 一式 3,500,000円(見積番号③) <b>【請負費】</b> 会場警備・運営管理業務請負 一式 2,450,000円(見積番号④) <b>【需用費】</b> 消耗品費 50,000円(需用費内訳②)	10,000,000	5,000,000	5,000,000
名勝「〇〇庭園」における茶会体験	<b>【賃金】</b> 運営スタッフ 1,400円×60人/日=84,000円 <b>【旅費】</b> 運営スタッフ旅費 500,000円(旅費内訳③) <b>【使用料】</b> 打合せ会議 15,000円×6回=90,000円 <b>【需用費】</b> 消耗品費 86,000円(需用費内訳③)	760,000	380,000	380,000
合 計		23,910,000	11,955,000	11,955,000

費目ごとの執行内容が具体的に分かるよう、別紙の内訳書を添付ください(様式任意)。  
※「〇〇費 一式〇〇円」などの記載だけでは不可。

※ 課税対象経費については、消費税率10%として記載すること。

※ 3つを超えてプログラムを作る場合は、行を追加してプログラムごとの内訳を記載してください。

実施するプログラムごとに記載してください。

様式1-6 (記入例)

平成31年度 Living History (生きた歴史体感プログラム) 促進事業 プログラム調書

①実施主体	○×市	②連携する事業者	○○地域協議会、○○市商工会議所
③実施計画の名称	○×市の文化財を活かした歴史体感プログラム事業		
④実施するプログラム名	「○○家文書」の絵図に基づく○○家大名行列の復元		
⑤プログラムの内容 (プログラムの具体的な手法、年間の実施回数や1回あたりの参加想定人数等を記載)			
⑥プログラムで活用する文化財の内容			
名称		指定等	
名称		指定等	
名称		指定等	
⑦付加価値を付与するために使用する資料等			
○○家文書(明和元年)…幕末の○○家の大名行列の様子を示した絵図 ○○城跡発掘調査報告書…大名が行列出発前にとどまった二の丸庭園			復元に使用する根拠となる文献、資料、古文書などを記載するとともに、プログラムとの関係性を具体的に記載してください。
⑧特別料金の徴収等について (単価及び収入見込額)			
収入	体験参加料	100円×25,000人=2,500,000円	事業実施の翌年度以降、通年実施する際の特別料金の徴収見込みを記載してください。
収入	特別観覧料	1000円×2,500人=2,500,000円	
収入	体験協賛金	1,300,000円	
⑨その他 (プログラム以外にLiving Historyの成果品を活用する計画がある場合は、その内容を記載)			
○Living History事業で製作した丁度品やイベントの内容を、別事業で利用する場合 ・製作した大名・姫君の衣装を、博物館で展示・解説 ・製作した大名行列の衣装の着用体験、指物をもって写真撮影 ・製作した衣装を職員が着用して日常的に案内を実施 ・製作した道具の使用体験			

※プログラムごとにページを追加ください。

※スペースが足りない場合は、行の幅を変更したりしても差し支えありません。

協議会の事例を掲げていますが、地方公共団体の場合も、関係団体を構成を具体的に記載してください。

様式 2-1 (記入例)

実施体制の概要

<small>(ふりがな)</small> <b>名称</b>	〇〇〇〇	<small>(ふりがな)</small> <small>代表者職名・氏名</small> 市長 〇〇 〇〇	<small>しちょう</small> 〇〇 〇〇〇
	〇〇〇〇協議会		電話番号 ***-***-*** FAX番号 ***-***-***
<b>所在地</b>	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町3-2-1		〇〇〇〇協議会 〇〇市
	<b>構成員</b>		<b>構成団体</b>
〇〇 〇〇(〇〇行事保存会会長) 〇〇 〇〇(〇〇市観光協会会長) 〇〇 〇〇(〇〇市教育委員会〇〇課長) 〇〇 〇〇(〇〇市〇〇課長)		〇〇保存会 〇〇市観光協会 〇〇市	
<b>組織図</b>	〇〇市教育委員会〇〇課や〇〇市〇〇課、市指定有形文化財(建造物)の保存会、〇〇大学の〇〇教授(〇〇学部〇〇学科教授(専門分野:都市計画))、観光協会会長及び地域住民代表として▲▲自治会会長等で構成する実施委員会を設置し、.....。		
	<pre> graph TD     A[委員長 〇〇 〇〇(〇〇大学教授)] --- B[事務局 〇×市教育委員会]     A --- C[副委員長 ▲▲ ▲▲(〇〇保存会会長)]     A --- D[委員]     A --- E[委員]     A --- F[委員]       </pre>		

※ 委員会等の設置規則を併せて提出すること。

※ その他、本事業に協力することが可能な地域住民等による団体(例: 自治会、町内会、公民館、NPO、文化財愛護団体等)を把握していれば、リストを提出すること(様式自由)。



## 見積書

〇〇市 殿

大名行列丁度作成委託費について、下記のとおりお見積もりします。

平成〇年〇月〇日

(株)〇〇〇〇〇〇  
代表取締役 〇〇 〇〇 印

金 4,500,000 円

事項	金額	備考
企画経費	400,000	
取材調査経費	300,000	
調査関係の内部検討会資料	50,000	
製作スタッフ費用(人件費)	2,700,000	別添内訳
使用機材の使用料	500,000	別添内訳明細
丁度品仕上げ塗料費用	250,000	
消費税(8%)※	336,000	
小計	4,536,000	
値引き・調整費	36,000	
合計	4,500,000	

- ※ 人件費については、内訳を記入してください。
- ※ 単価等は「各費目における単価上限、補助対象外経費等」によるものとしてください。
- ※ 使用料、借料、再委託費、消耗品費等については、内訳明細を添付してください。
- ※ 発注予定金額が10万円(税込)以上の場合、見積書を徴すること。
- ※ 発注予定金額が100万円(税込)以上の場合、複数者から見積書を徴してください。複数者から見積書を徴することができない場合は、理由書(任意様式)を添付してください。
- ※ 執行日段階での消費税率をご記入ください。(10月以降は10%)

平成31年度 Living History (生きた歴史体感プログラム) 促進事業 成果報告書

①実施主体	〇〇市	②連携する事業者	〇〇地域協議会、〇〇市商工会議所						
③実施計画の名称	〇×市の文化財を活かした歴史体感プログラム事業						①～④は(様式1)交付要望書と合致させてください。		
④事業年度	令和元年度								
⑤設定した指標・目標と元年度の達成状況									
Living History事業の各プログラムへの参加者総数【必須】	元年度	45,000人	7年度	60,000人	→	達成状況	元年度	43,000人	
対象文化財群に来訪した外国人観光客数【必須】	元年度	25,000人	7年度	46,000人	→	達成状況	元年度	26,000人	
対象文化財における外国人観光客満足度(アンケート調査)	元年度	70%	7年度	85%	→	達成状況	元年度	75%	
⑥事業成果の概要 ※令和元年度に実施した事業の実施状況を記載してください。									
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>計画を実施することにより、どのような効果・成果を得られたかについて、人数などの指標の基づき、定量的・定性的な効果を具体的かつ詳細に記載してください。</p> </div>									
⑦事業実施による効果等の検証・分析結果及び今後の見通し ※令和元年度事業実施により得られた効果や実施以後の状況(人数などの指標の基づき、定量的・定性的な効果)及び今後の目標達成の見通しを具体的に記載してください。									
⑧補助事業実施による元年度収入とその用途									
プログラム①	収入	体験参加料	100円×25,000人=2,500,000円			用途	スタッフ人件費等		
プログラム②	収入	体験参加料	100円×25,000人=			実施したプログラムごとに、得られた収入と用途を記入ください。 ※文化財の保存と活用に資する経済の好循環を意識していただくよう計画してください。			
プログラム③	収入	体験参加料	100円×25,000人=						
⑨担当者連絡先									
ふりがな	〇〇 〇〇								
担当者氏名	〇〇 〇〇(〇〇市教育委員会文化財課)								
TEL	****-****-****			FAX	****-****-****				
E-mail	***@***.***.***								
住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町1-2-3								

※ スペースが足りない場合は、行の幅を変更しても差し支えありません。

※ 項目を追加する場合は行を追加してください。